

第四十四回句会 俳句

【高点句】

- ☆刻告げるやうに間を置き牛蛙 〈明美〉  
☆若葉風天守台よりオフィス街 〈安津子〉  
☆苑薄暑一氣に登る天守台 〈一馬〉  
☆夏の雲竹刀響くや武道場 〈郁代〉  
☆堀端にチェロの音低く牛蛙 〈郁代〉  
☆緑さす大手門抜け歴史旅 〈安津子〉

【各自一句】

- ・広大な苑に高らか四十雀 〈眞澄〉  
・樟若葉大いなる気のほしいまま 〈千恵〉  
・四十雀陛下の庭で何告げる 〈撫子〉  
・杜鵑花満開二の丸池を取り囲み 〈明美〉  
・主なし城に群れなすひめじょおん 〈郁代〉  
・ご乱心松の廊下に春めぐる 〈童心〉  
・グランドの声ぶつかりて夏に入る 〈青蛙〉  
・大奥の嫉妬渦まく浅沙（あさぎ）池 〈莫院〉  
・異国語の飛び交ふ御苑若葉風 〈一馬〉  
・エトランゼ覗いて写す錦鯉 〈安津子〉

\*以上、30句（3句ずつ10名）より、選句は12名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第3位が同点で4句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）